

静岡・支局長からの手紙:静岡の食を堪能 / 静岡

毎日新聞 2012年11月06日 地方版

県内のおいしいものを試食できるというので、静岡市内で開催された「しずおか食セレクション・ふじのくに新商品セレクション」の認定・表彰式イベントに参加した。

式後の交流会。各テーブルには、仁科（西伊豆町）のヤリイカの刺し身、折戸（おりど）ナスの煮浸し、釜揚げ桜エビなどが並んだ。

一通り食してみようと頑張ったが、出席者の多さで移動もままならず、「遠州夢咲牛」のステーキなどは食べ損なった。

「食セレクション」は全国や海外に誇りうる農産物を、県独自で認定するもの。10年にスタートした。今年は29の農産物が選ばれ、それを使った料理が会場を飾っていた。

一方、加工食品を対象とした「新商品セレクション」では最高金賞1、金賞13の商品が表彰された。

最高金賞は有限会社石田茶店（森町）の「静五咲（しずいつつざき）」。県内の茶どころ5産地のお茶をティーバッグで楽しめる。

石田宏之専務（31）に聞いた。「茶葉を厳選したことに加え、お茶を飲み比べられる点などが評価されたのだと思う」

5年前にも同じコンセプトの商品を売り出したが、その時は鳴かず飛ばず。今回ティーバッグに変え、包装もカラフルにするなど数々の改良をして栄冠を獲得した。

6月に厚生労働省が初めて発表した「健康寿命」調査で日本一となった静岡県。食の豊富さも無関係ではあるまい。晩年、駿府に移り住んだ徳川家康も食の充実ぶりに魅了されただろう。

イベントでは、「食の王国」の一端を堪能できた。会場でもらったニジマスの缶詰「鱈財缶（そんざいかん）」もよかった。【静岡支局長・宮澤勲】